



秋の実り（竹前義博）

喜田コメント

林檎と梨と葡萄が作品の中心です。色彩が豊かで存在感があります。それを支えるガラスの花瓶に刺された花は自分が脇役であることをよく自覚しているようです。遠くに置かれた2個の緑のグラスによって、作品に響き合いが出ました。



二人でワインを（武智康子）

喜田コメント

真面目で、落ち着きがあって、基本に忠実に熱心に観察して描きこんでいます。構図的にも色彩的にも、また、描写的にも、どこにも破綻がありません。柔らかくてとても良いと思います。これが武智さんの個性なのですが、欲を言えば、もっと変化（面白さ）が欲しいのです。例えば、手前と向こう側の2つのワイングラスの描き方を、色彩、形状、濃淡などで思いきり差をつけて描いてみる、などの冒険です。

喜田コメント

ワインボトルの硬さ、江戸切子のグラスの質感など、よく表現できていると思います。

敷物と机と背景のコントラストも見事だと思います。

いわゆる「固い作品」が筒井さんの個性です。

この流儀を追及してください。



江戸切子（筒井隆一）



秋の花々と果実（井上清彦）

喜田コメント

柔らかくて、優しい色彩・タッチで表現した作品です。

右下の林檎・葡萄は、構図的にこの作品に、なくてはならない要素です。これがなければ作品としては平凡になって面白くありません。

今後の成長のために、ガラスの花瓶に刺した茎の表現について注文です。

硝子から上に出た部分、ガラスの中だが水につかっていない部分、水に沈んだ部分、この三つの部分の茎を描き分けてみてください。

喜田コメント

時間が足りなかった
ので、岡田さん独
特のメルヘンの世
界が十分に発揮で
きませんでしたね。
形にこだわらない
で、色と雰囲気で表
現することが岡田
さんの個性です。
時間が短くてごめ
んなさい。でも作品
として美しさと面
白さがあります。



静物（岡田理子）



秋、秋 秋ですね～（月川りき江）

喜田コメント

葉書サイズの画面に新聞紙をちぎって貼
る「ちぎり絵」です。まず、こんな小さ
な領域に「秋の要素」を思いっきり表現
しましたね。

上の作品：秋の花々、秋の果物、葡萄酒
のグラス。

下の作品：真っ赤な実をつけた柿の枝、
紅葉したモミジ、沢山の落ち葉。

この表現力が月川さんの持ち味です。

先日見せていただいた「お月見の作品」
も含めて、月川さんの作品には、季節感
があふれています。

作品は作者のメッセージです。

ぜひ、これからもよい作品を期待してい
ます。

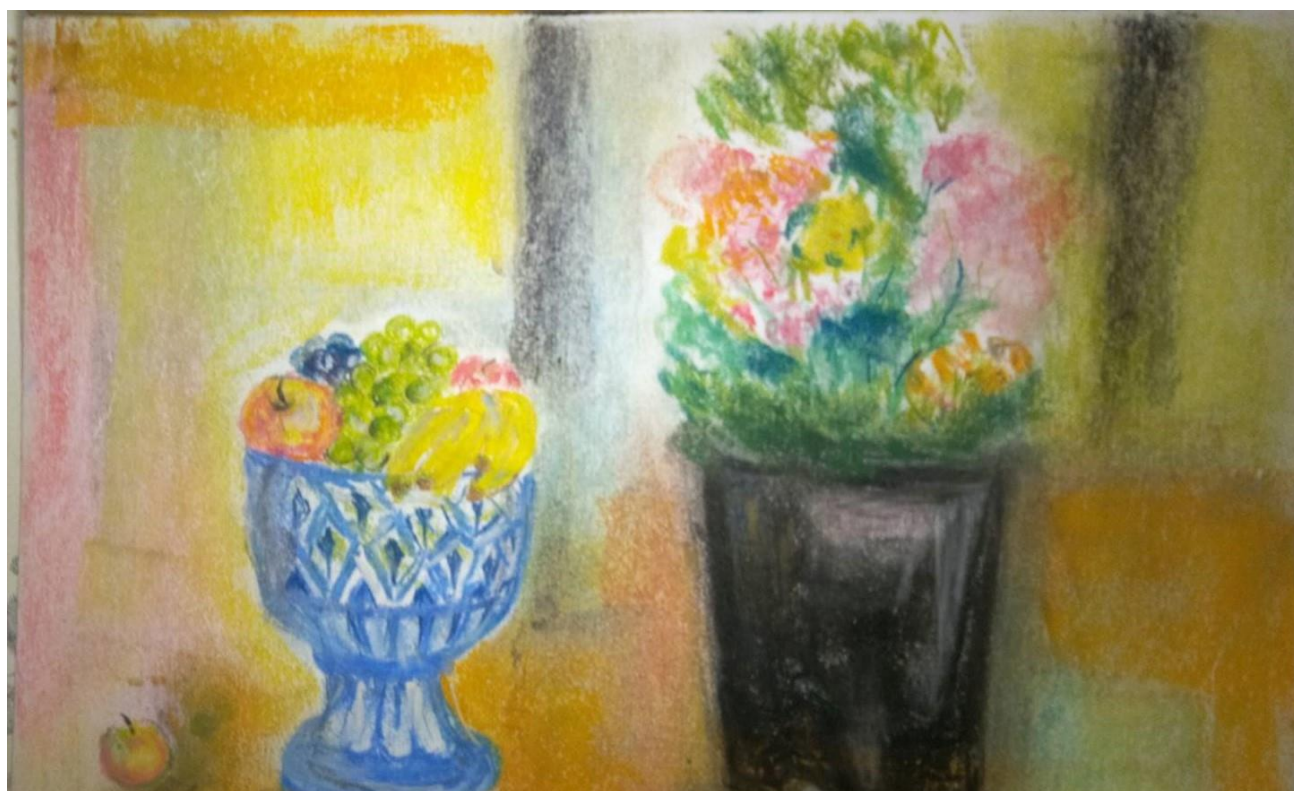


静物 I (黒田重雄)

(喜田コメント) 黒田さんの作品：いつものようによく観察して、エネルギーを画面に注入しました。構図的には果物の皿を花瓶からずらせて、もう少し右に置いた方がよかったですね。そして林檎も葡萄と同じくらい描き込んだら、この作品はもっともっと面白くなったでしょう。画面の右上を意図的に抜いたのは作品に広がりを与えてよかった。

(喜田コメント) 遠矢さんの作品：絵画的で素晴らしいと思います。あえて、高さの異なる二つの花瓶の花を並べて描きました。それが面白いリズムを作り出しました。

背景の縦横に変化のある構図とパステルの美しい色彩と花が響き合って、作品から音楽が聞こえてくるようです。



花と果物 (遠矢慶子)

作者コメント

ポルトガルワイン
(Dao) と美しい2
個のヴェネチアン
グラスのコンビネ
ーションである。
これらはどうや
って東京にやってき
たのだろうか。
彼らの旅路を想い
ながら描いた。



ワインとヴェネチアングラスの旅（喜田祐三）



作者コメント

岡田さんが沢山の
秋の花を持ってき
てくれた。
美しい花々の中か
ら、「二本の鶏頭」に
焦点を合わせて、
描いた。

鶏頭の想い（喜田祐三）